

NEWSLETTER



特集：2025年春着任教員紹介 Part3

【9月号】秋セメスターが始まりました。

9月の卒業式と入学式が終わり、秋セメスターが始まりました。先生方は夏季休暇の研究期間を終え、今は授業開講に向けた準備で忙しくされている頃でしょうか。さて、今月のニュースレターは、春に着任された先生方のご紹介最終回です。寄稿のご協力ありがとうございました。

自己紹介

大学院時代にベトナムに留学し、農村調査をしながらNGOや社会改革案件に従事。そのまま25年ほど、国際協力の仕事に従事しました。これまでベトナム、インドネシア、エチオピア、ミャンマー、そしてパレスチナで教員教育に携わってきました。パレスチナの現状は目を覆うばかりで、彼の地の友の安全を日々祈っています。



教育開発・学修支援センター
津久井 純 准教授

研究内容

ベトナムがメインですが、日本やアジアの国の学校改革に携わっています。学校を訪問し、校長と教師に面談し、授業を参観して子どもたちの個性を知る、これらを通じて、民主的な学校づくり、質の高い学びづくりを先生方と共に考えています。エスノグラフィーや自分史分析など質的研究の手法から研究しています。

メッセージ

APU学部生へ

私は全学の初年次科目「スチューデントサクセスワークショップ（SSW）」、「多文化協働ワークショップ（MCW）」を担当し、大学での学び方について皆さんと一緒に考えていきます。APUには教育学部がありませんが、教育と学びに興味がある人はぜひ声をかけてください。日本や各国の教育政策だけでなく、学校での教師と生徒の実際についてお話ししましょう。

APU大学院生へ

大学院の醍醐味は、研究規範を身につけながら大学の外、社会の具体的な組織を調べることだと思います。私自身は各国でフィールドワークを行った経験があるので、留学、農村調査、質的研究法に興味がある学生を支援したいです。

APU志望受験生へ

APUに着任した後、東京に戻る機会があったのですが、APUは東京駅・新宿駅などよりもはるかに多くの外国人がいることに気づきました。しかも、寮生活を通じて外国人と友達になれます。多くのAPU生は、休み中に海外旅行に行きますが、宿泊費は無料、なぜならAPUで知り合った友達の家に泊まるからです。こんな大学は日本の中にどこにもないと思いますよ。

自己紹介

独立行政法人 国際協力機構（JICA）からの出向です。約30年間勤務し、海外勤務はベトナム、ナイジェリア、タンザニア、英国（2022～2024）です。直近はJICA九州でした。海外赴任の度に趣味が増え、ナイジェリアとタンザニアを馬で駆けていました。ハンガリーやモンゴルの大平原、アイスランドを駆けたのも良い思い出です。



サステナビリティ観光学部
天津 邦明 教授

研究内容

工業化初期段階にあるベトナムやタンザニアの国家指導者らが野心的なビジョンを掲げ工業化を推進する状況を間近に見てきた経験から、ビジョンとその後の工業化実績の関係の研究に取り組んでいます。

また、JICA時代に英国と付かず離れずの関係で、直近の英国駐在でも多くの知人ができ、今も英国の国際開発の動向をウォッチしています。

メッセージ

APU学部生へ

文化や価値観の多様性を楽しみながら、しなやかな思考や価値観を育てていくと良いと思います。とはいえ人それぞれ。自分なりの過ごし方をみつけられると良いですね。

APU大学院生へ

学部が学ぶ場とすれば、大学院の博士課程は自立的に研究に取り組む場、修士課程はその中間ですかね。大学院ではまずはカタチを身につけること、他の人との共同作業の経験を積むこと、そしてAPUの先生たちが持つネットワークを通じて、国内外の様々な研究者や知見に触れることを大事にしたら良いと思います。

APU志望受験生へ

別府は山あり海あり湯けむりありで風光明媚。街も静かでコンパクト。地域のエコシステムの一員として、APUは稀有な空間を創り出していると思います。日本人学生にとっては世界へ、留学生にとっては日本や他の国へと繋がるゲートウェイと言えます。学びや研究、そして今後の人生に繋がる、様々な発見があると思います。

自己紹介

私の学問的・職業的な旅はコロンビアのボゴタで始まり、フランシスコ・ホセ・デ・カルダス地区大学で生産工学とロジスティクスの学位を取得しました。製造部門で働いた後、ブラジルに移り、ペルナンブコ連邦大学で生産工学の修士号を取得しました。そこで、研究を通じて戦略的意思決定を支援することに情熱を注ぐようになりました。

コロンビアに戻り、学術的な教育とコンサルティングを組み合わせ、企業の経営課題解決を支援しました。その後、東京大学で技術経営戦略学専攻の博士号を取得し、Science, Technology, and Innovation Governance Programにも参加しました。今年4月にAPUに着任する前は、東京大学で研究員として働き、持続可能なシステムとグローバルコラボレーションへの関心を深めました。

APUの准教授として、教育、文化交流、学問的成長が一体となったグローバルな学習環境に貢献することを嬉しく思っています。

学問だけでなく、多様な文化や運動にも関心があり、カポエイラ（格闘技、ダンス、音楽をミックスしたブラジルの格闘技）を長年練習してきました。また、ハイキング、シュノーケリング、カヤックなどのアウトドアスポーツを通して自然と触れ合うことや、ダンスも大好きです。



国際経営学部
RICO LUGO Sinndy Dayana 准教授

研究内容

循環型経済における持続可能な経営と戦略的意思決定に焦点を当て、企業、政府、地域社会が協力して、経済的に実行可能で、社会的に包摂的かつ環境効率の高い循環型システムを構築する方法を研究しています。

特に複雑なサプライチェーンにおいて、ステークホルダーがより良い意思決定を行うためのフレームワークやインセンティブ・メカニズムの設計を専門としています。私のアプローチは、メカニズム設計、ゲーム理論、多基準意思決定分析と実際のケーススタディを融合させ、財界、産業界、政府間の連携を促進しています（図1）。

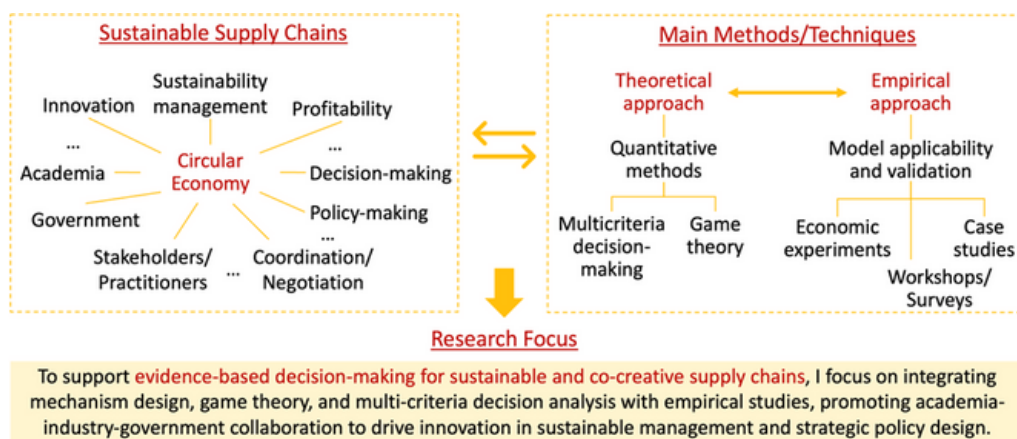


図1. Research Focus.

主要な関心領域の一つは、循環型食品経済（CFE）です。これは、損失と廃棄を最小限に抑え、生物多様性を高め、サプライチェーン全体での再生促進により、食品システムを再設計する包括的なアプローチです。CFEは、寄付や堆肥化にとどまらず、デジタル・ツールや関係者の連携を取り入れ、実行可能で持続可能な食品循環を構築することを目指しています（図2）。

CFEは大きな可能性を秘めているものの、トレードオフ、利害関係者間の対立、効果的なインセンティブの欠如などにより、導入は困難です。まさにそこに私の研究が関わってきます。緻密なシステム設計を通して、多様な利害関係をどのように調整するかを探求するのです。

最近の研究プロジェクトには、以下のものがあります：

- ・バイフォームゲームを用いたCFEプロジェクトにおける利害関係者の参加モデル化
- ・循環型経済の意思決定における投票ルールの研究
- ・フードバンクの配分戦略の分析
- ・インタラクティブトレードオフ法を用いた利害関係者の選好の調査

この研究を通して、厳格な理論と実践的な解決策を結び付け、実社会の持続可能性への移行を目指しています。



図2. Circular Food Economy. Rico Lugo S.D., Kimita K., & Nishino N. (2023).

メッセージ

APU学部生へ

学部時代は、発見、成長、そして変革に満ちた、人生における刺激的な一章です。好奇心を持ち、新しいことに挑戦しましょう。教室で学ぶだけでなく、経験、友情、挑戦を通して学びましょう。この時期を使って、自分の興味や情熱を探究してみてください。きっと、それらがあなたをどこへ導くのか、驚くような発見があるかもしれません。そして、忘れないでください。今日直面するあらゆる困難は、明日の自分をより強くする力となるのです。

APU大学院生へ

大学院は、その分野の専門家になるための重要なステップです。知識の基礎がすでに整っている今こそ、自分の興味を絞り、有意義な問いを投げかけ、アイデアを影響力のある研究やプロジェクトへと発展させるために必要なスキルを磨く時です。この機会を利用して、学術的かつ専門的なアイデンティティを意図的に構築しましょう。積極的に行動し、常に反省し、コラボレーションを積極的に取り入れることで、想像もしなかった扉が開かれるでしょう。

APU志望受験生へ

APUで学ぶということは、様々な文化が出会い、アイデアが溢れ、多様性が尊重される真にグローバルなコミュニティに参加することを意味します。私はAPUの教員として、学生たちが国際交流や学問的な挑戦、協力的な学習を通して成長していく姿を目の当たりにしています。APUは、批判的に考え、誠実に行動し、世界中の人々とつながることを奨励する、日本でも類を見ない環境を提供しています。知的で活気があり、文化的な豊かさに満ちた場所で学び、成長したいと考えるなら、APUはあなたを待っています！



研究広報に関する先生方へのお願い

研究ホームページの新着ニュースやFacebookでは、APU教員の研究における注目すべき成果やメディア掲載情報等を随時紹介しています。

掲載を希望される情報がございましたら、ぜひ研究広報のメールアドレスropa@apu.ac.jp宛てにご連絡ください。

[新着ニュース](#)



[Facebook](#)

